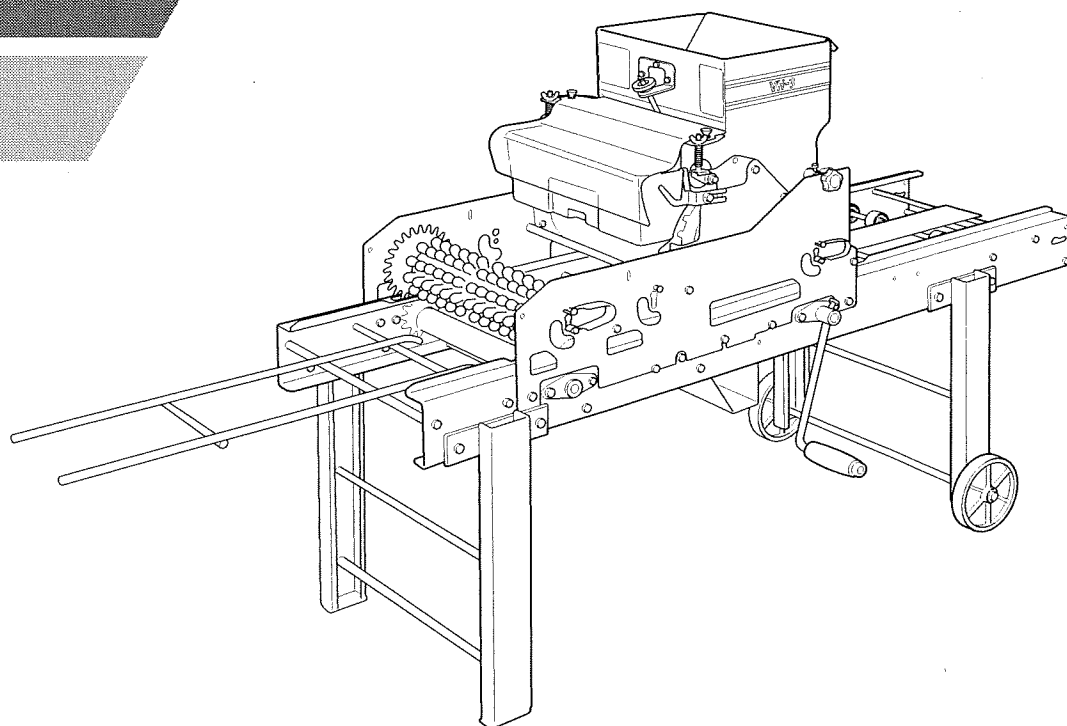


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みのる野菜手動播種機

VH-3

取扱説明書



みのる産業株式会社

はじめに






- この度は、本播種機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
- この播種機は、コート種子を播種する為のものであって、他の用途の為に使用しないでください。
- この取扱説明書は、播種機を使用する際に是非、守っていただきたい安全作業に関する基礎的事項、播種機を適切な状態で使っていただくための正しい運転・調整・整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- 播種機を初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも初心に立ち返り入念に読み、十分理解され安全・確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。
- 播種機を貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を充分理解していただき、この取扱説明書を播種機にそえてお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買いあげいただいた、販売店・JA（農協）にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本播種機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買いあげいただいた、販売店・JA（農協）にご相談ください。
- 取扱説明書の中の  **重要** 表示は、下記のように安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しております。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しております。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しております。
 重要	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

目 次

安全のポイント	1
安全な作業をするために	1
保証とサービスについて	4
各部の名称	5
作業前の準備	6
必要資材の準備	6
播種機の組立て・準備	7
作業のしかた	9
オプション部品について	12
点検整備	13
播種ロールの取替要領	13
土押えロールと種子押えロールのタイミング調節	14
サービス資料	15
主要諸元	15
消耗部品	15

安全のポイント

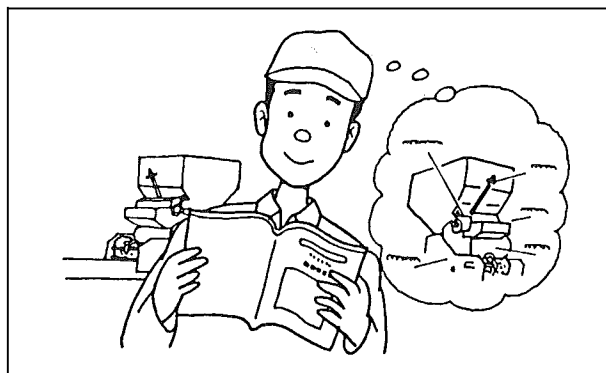
安全な作業をするために

本章では、機械を効率よく安全にお使い頂くために、必ず守って頂きたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行ってください。

■作業者の条件

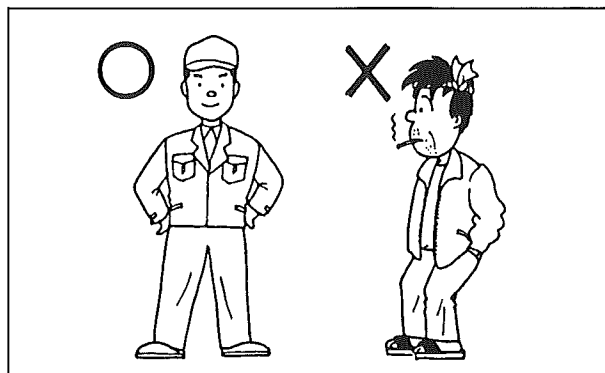
(1) はじめに

作業をする前に、この『取扱説明書』をよく読むことから始めてください。
これが安全に快適に作業するための第一歩です。



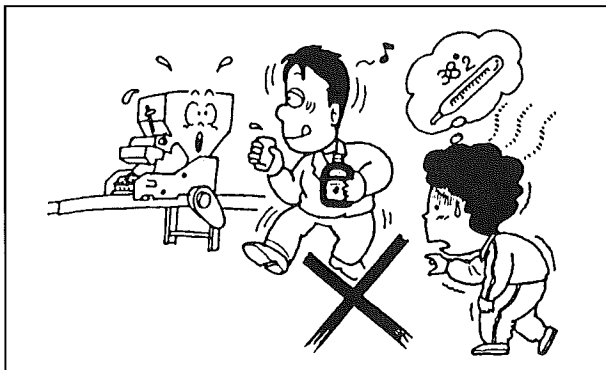
(3) 服装について

作業をする時は、作業に合わせた服装をしてください。
服装が悪いと、衣服が回転部等に巻き込まれたりして大変危険です。



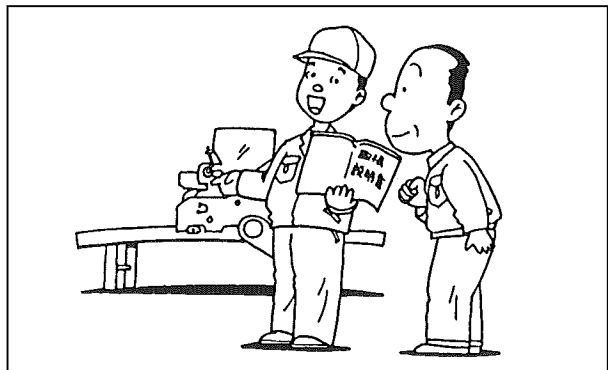
(2) 体調について

飲酒時や過労ぎみの時は、作業をしないでください。
この様な時作業を行うと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こします。作業をする時は、必ず心身とも健康な状態で行ってください。



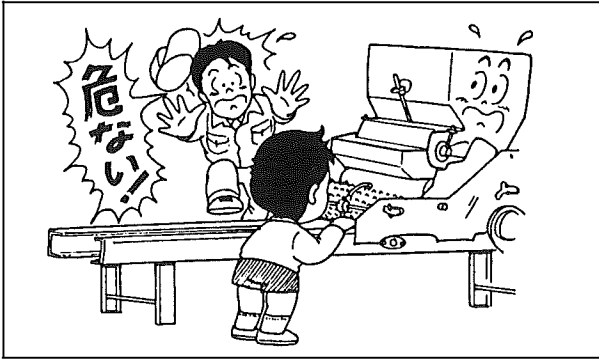
(4) 人に機械を貸す時は

機械を人に貸す時は、取扱いの方法をよく説明して、使用前に『取扱説明書』を熟読する様に指導してください。
借りた人が、機械の運転に不慣れなため、思わぬ事故を引き起こすことがあります。

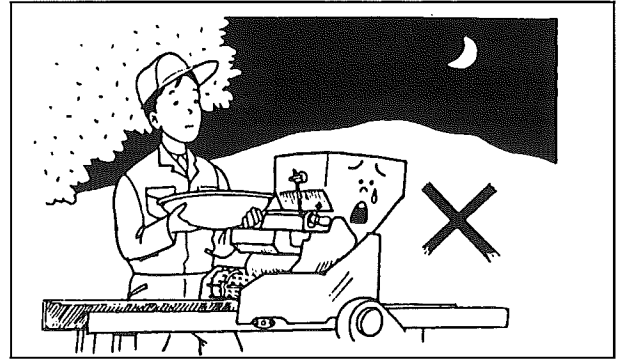


■作業中は

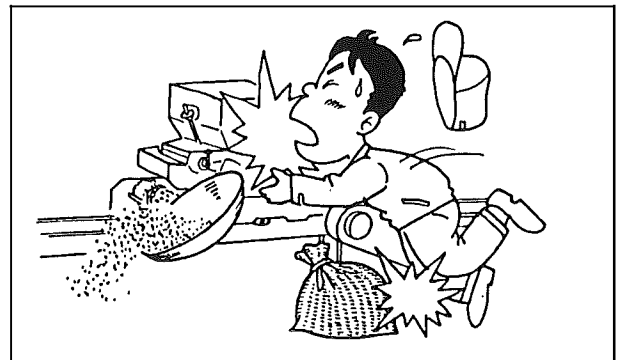
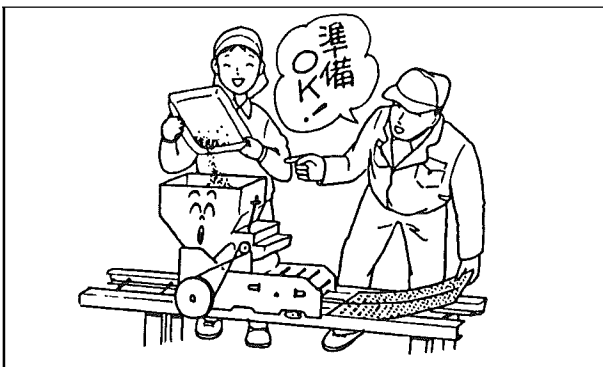
- (1) 作業中は、周りの人に注意（特に子供）
作業中は作業員以外の方は機械に近づかないでください。機械自体や、作業による飛散物等で、傷害事故を引き起こす恐れがあり危険です。



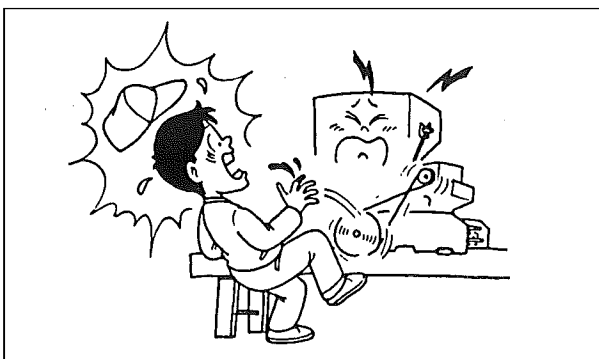
- (4) 作業は、明るく広い場所で
夜間の作業や、暗い屋内での作業はしないでください。また、作業は広い平らな場所で行い、機械の周りは整理整頓しておいてください。怠ると思わぬ事故の恐れがあります。



- (2) 作業開始時は声をかけあって
作業を開始する時は、周囲の安全を確認し、特に補助者と共に作業するとき、声をかけあって行ってください。怠ると傷害事故の原因になり大変です。



- (3) 回転部には手を触れない
作業中は、チェーン・sproケット等の回転部分には手を触れないでください。傷害事故の原因となり大変危険です。



■点検・整備時は

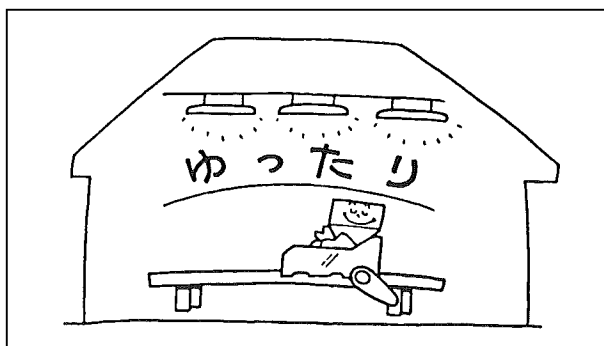
(1) 定期点検について

取扱説明書に従って定期点検を実施しましょう。これは、機械を長持ちさせると共に、安全で効率的な作業が行える第一歩です。



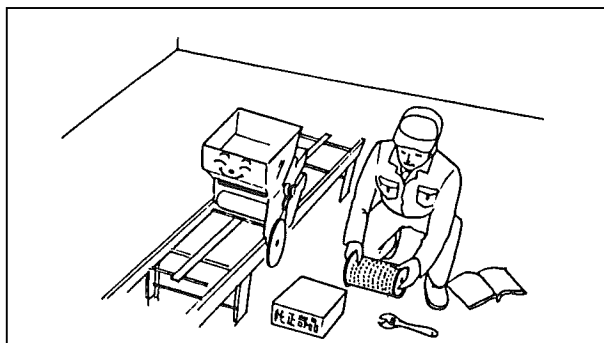
(2) 点検・整備は、明るく広い所で

点検・整備は明るく広いところで行ってください。暗く狭い所で行っていると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。



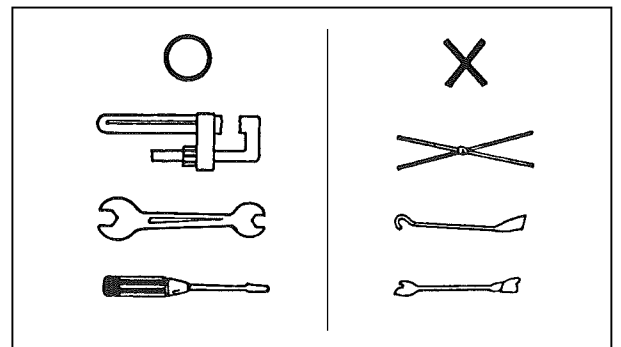
(3) 機械の改造は厳禁

指定以外のアタッチメントの取り付けや改造は、絶対にしないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故の原因になり大変危険です。



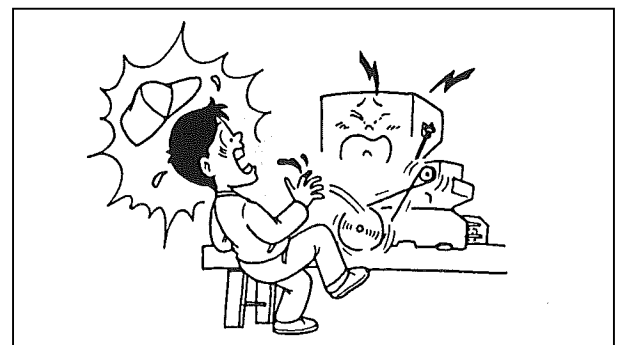
(4) 点検・整備は、適正な工具で

点検・整備を行う時は、適正な工具を正しく使用してください。間に合わせの工具で行うと、整備中の傷害事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。



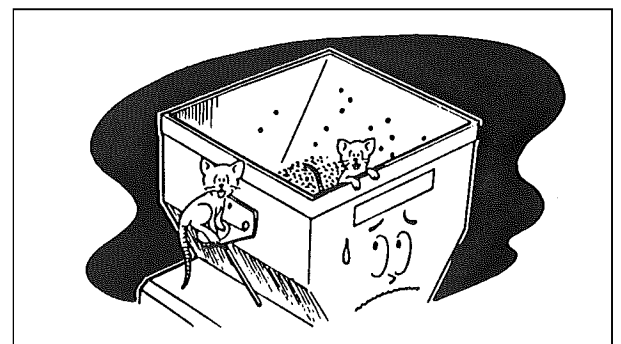
(5) 回転部分には注意して

点検・整備を行う場合は、チェーン・sprocket等の回転部分に、手や指を挟まれない様に、特に注意してください。怠ると傷害事故の原因になり危険です。



(6) 種はきれいに掃除して

長期格納する場合は、播種ホッパーや播種ロール内の種を完全に抜き取っておいてください。怠るとネズミ等による食害で、機械の故障の原因になります。



保証とサービスについて

■商品の保証

この商品には、保証書が添付されています。詳しくは保証書をご覧ください。

■サービスネット

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店・JA（農協）へお気軽にご相談ください。

■補修用部品供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後9年といたします。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合があります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

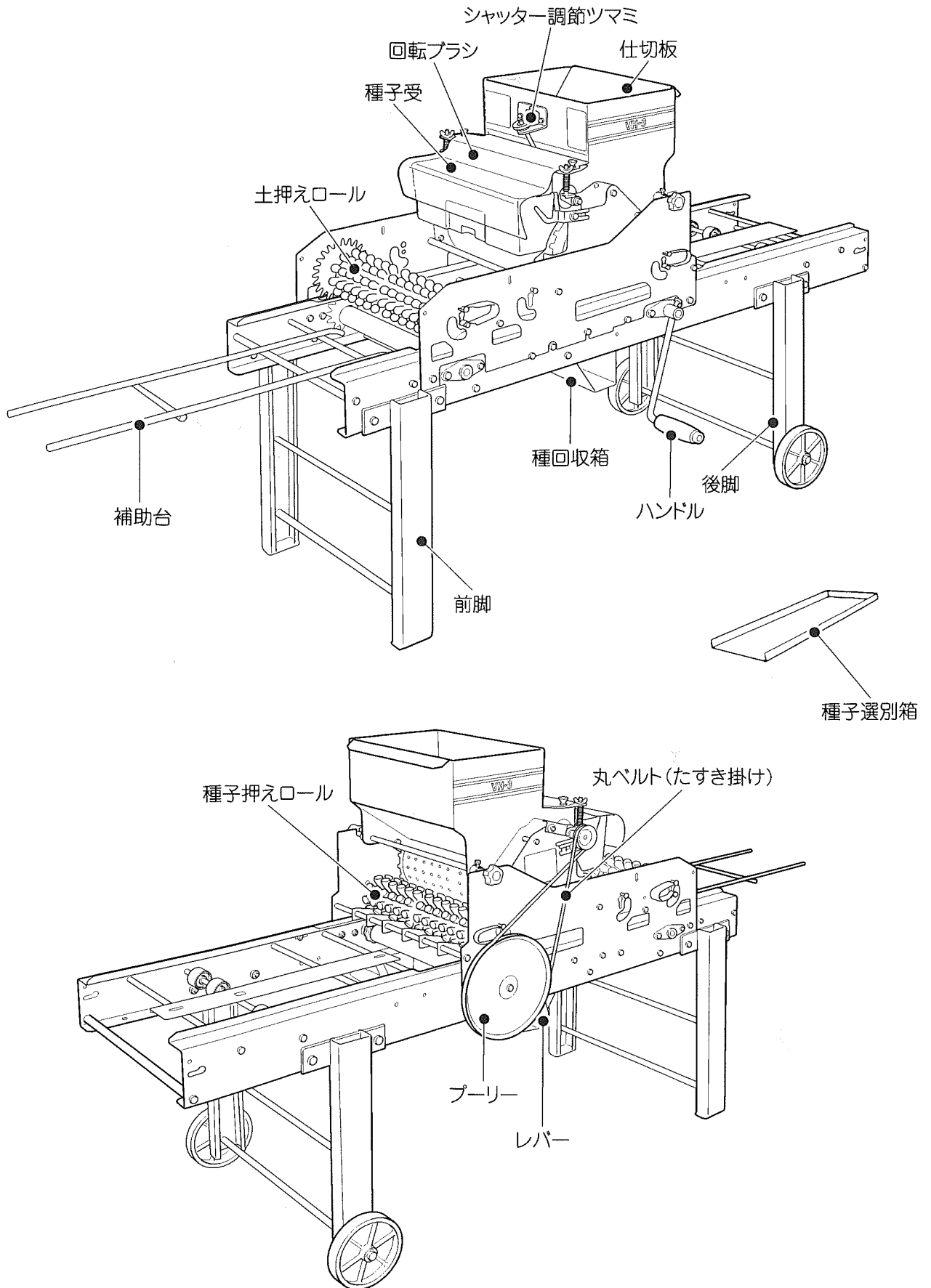
補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、本機に一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷しておりますので、安心して使っていただけます。

市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

各部の名称



作業前の準備

必要資材の準備

必要な資材の種類・必要量等は、育苗栽培マニュアルに従って準備してください。
その際、次の事柄には特に注意してください。

1. 種の準備

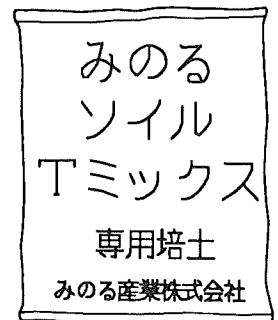
- 白ネギの種は2L規格（球径3.5～4.5mm）のコーティング種子を使用してください。

2. 土の準備

- 土は必ず専用培土（みのるソイルTミックス）を使用してください。

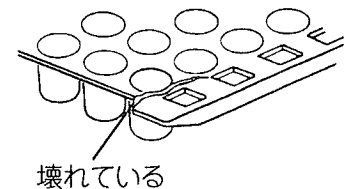
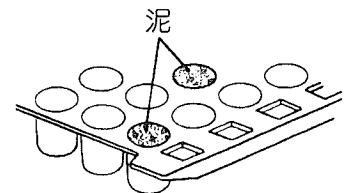
重要

使用する土の選択を誤ると育苗、移植の失敗につながります。土の選択で失敗しない為には専用培土（みのるソイルTミックス）を使用してください。



3. 苗箱の準備

- 泥・ゴミの多く残っている苗箱は、播種作業時のトラブルの原因となりますので、必ず前もってよく洗っておいてください。
- 破損した苗箱を使用しますと、播種作業時及び移植時において、トラブルの原因となるばかりでなく、機械が破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。



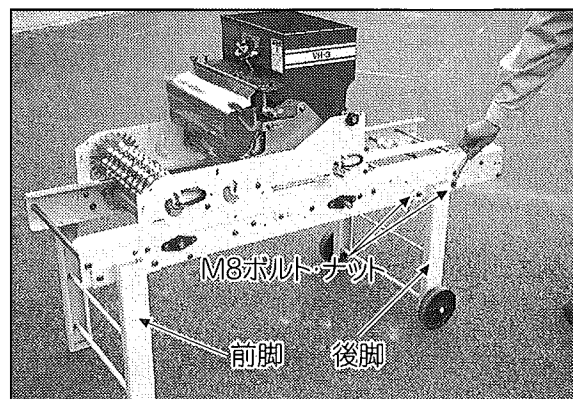
播種機の組立て・準備

安全には十分注意して、次の要領で作業を進めてください。

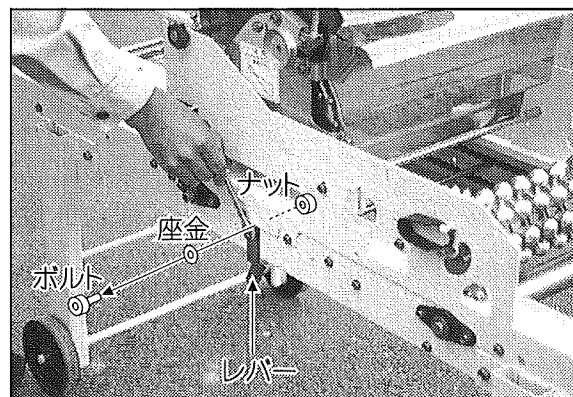
1. 前脚、後脚（車輪付）を付属のM8ボルト・ナットで固定します。

重要

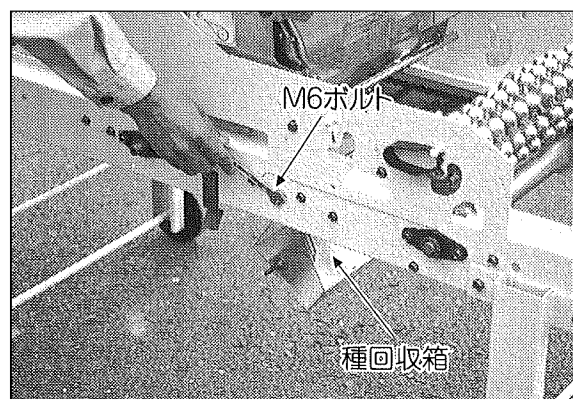
機体は水平な場所へ設置してください。



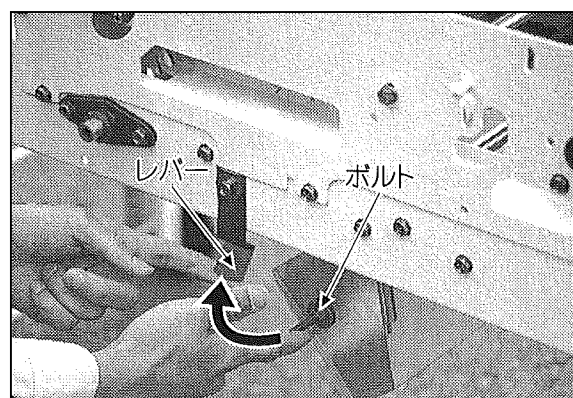
2. レバーを付属のM6ボルト・ナット・座金で固定します。



3. 種回収箱を付属のM6ボルトで固定します。



- 種回収箱の矢印部のボルトをレバーに引っ掛けておきます。

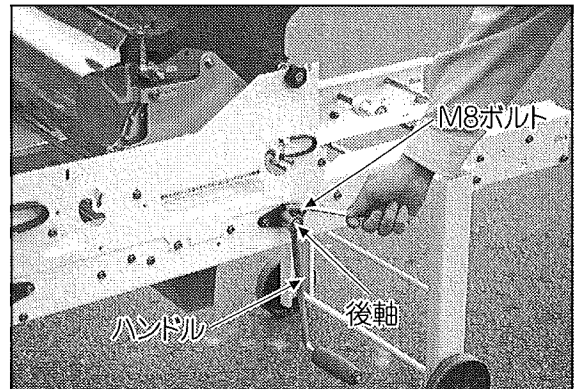


作業前の準備

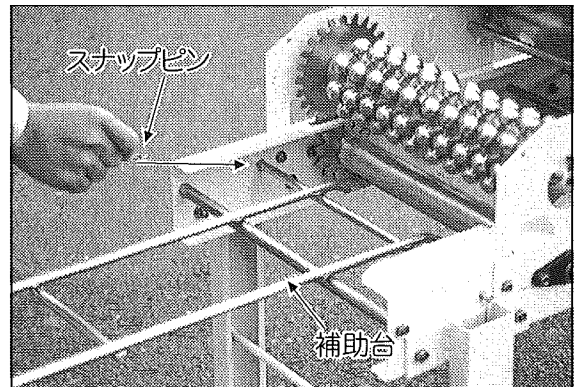
4.ハンドルを後軸へ取付けて、M8ボルトで固定します。

重要

M8ボルトは後軸の凹部に確実にに入れて固定して下さい。



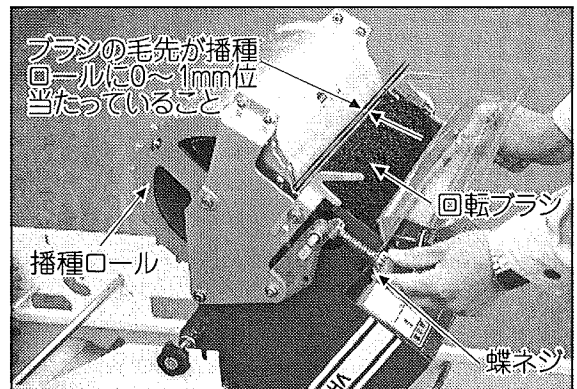
5.補助台をスナップピンで止めます。



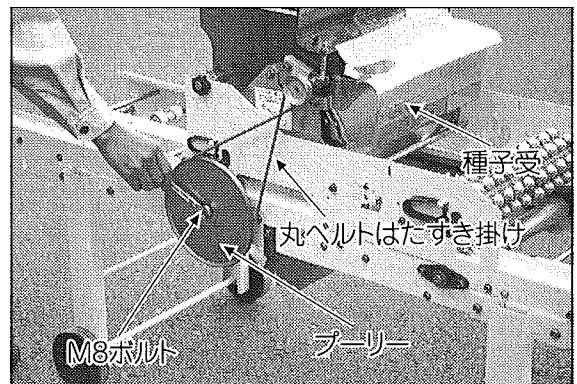
6.種子受を外し、ホッパーを倒して回転ブラシの毛先が播種ロールの表面から0~1mm位当たる様に左右の蝶ネジで調整して下さい。

重要

保管時には、ブラシの毛先と播種ロールの表面にスキ間がある様にしておいて下さい。



7.ホッパーを起こして種子受を取付け、プーリーをM8ボルトで固定してから丸ベルトをたすき掛けします。



準備完了

作業のしかた

安全には十分注意して、次の要領で作業を進めて下さい。

1. 種播ホッパーに種を入れ、土入れしない苗箱を数回通して、播種ロールの表面が種で少し覆われる様にします。

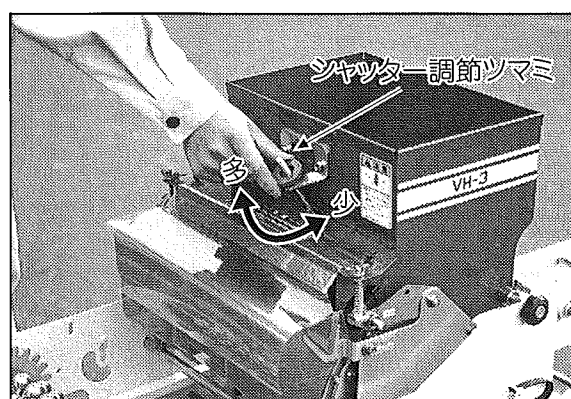
重要

機体は水平な場所へ設置して下さい。

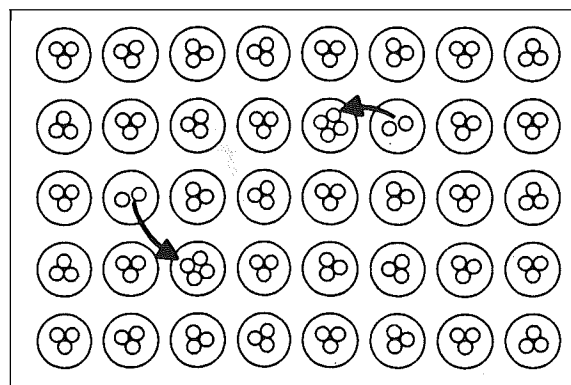


2. 数回苗箱を通した後、1ポットに3粒ずつ入ることを確認してください。

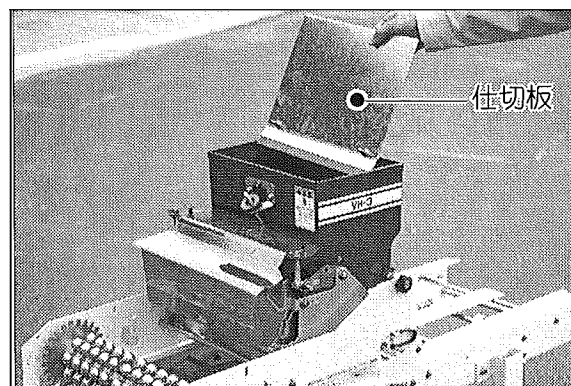
- 4粒まきが発生する場合は、シャッター調節ツマミを『少』の方向へ1～2回まわして、シャッターを少し下げてください。
- 1～2粒まきが発生する場合は、シャッター調節ツマミを『多』の方向へ1～2回まわして、シャッターを少し上げて下さい。



- 空箱で播種すると、種が跳ね出て右図の様に隣のポットに移ることがありますが、土入れして作業する場合は跳ね出ることはありません。



3. 少量の種をまく場合は、付属の仕切板をホッパー内に差し込んでから種を入れて下さい。



作業のしかた

4. 播種の調整が完了したら苗箱にまんべんなく土入れをします。

土入れ後、苗箱の表面を適当な板等でマス切りします。

重要

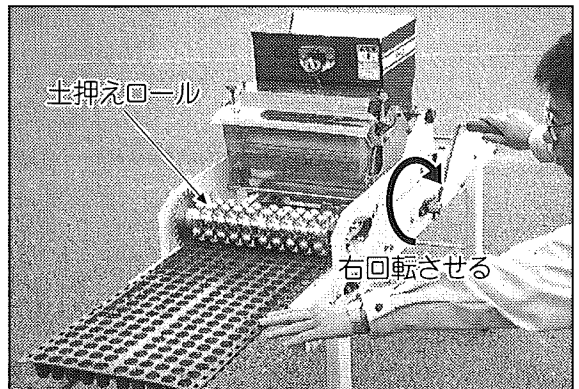
使用する土の選択を誤ると育苗、移植の失敗につながりますので、かならず専用培土（**みのる**ソイルTミックス）を使って下さい。



5. 土入れした苗箱を播種機にのせ、土押えロールに送り込んでからハンドルを右回転（時計回り）させて、苗箱を送って種をまきます。

重要

ハンドルは一定回転で回し、苗箱を送り出すまで止めないで下さい。又、ハンドルは逆回転（反時計回り）させないで下さい。

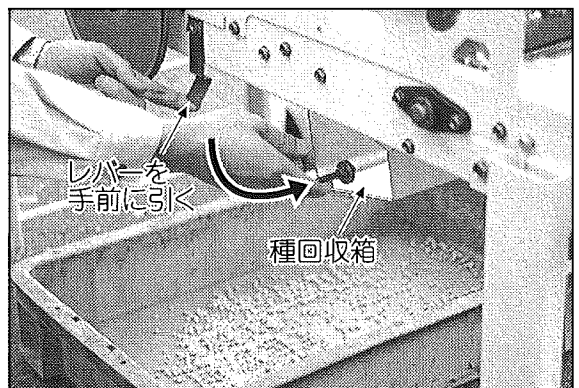


6. 播種した苗箱に覆土して、苗箱の表面を板等でマス切りすればできあがりです。



7. 種回収箱

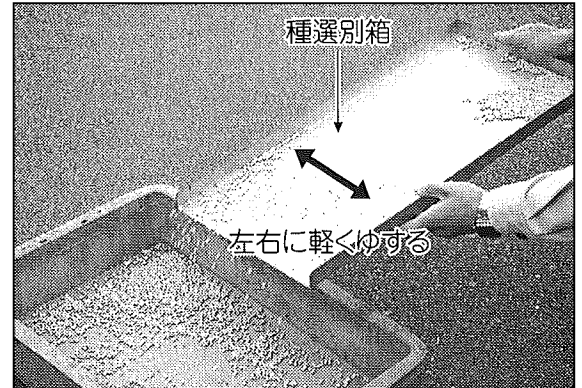
矢印部のレバーを手前に引いて、種回収箱を反転させ、溜った種、土を取出して下さい。



作業のしかた

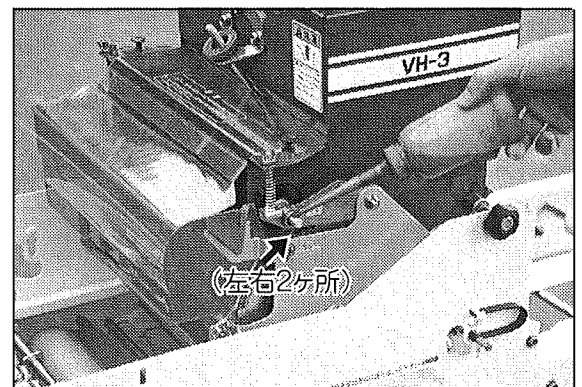
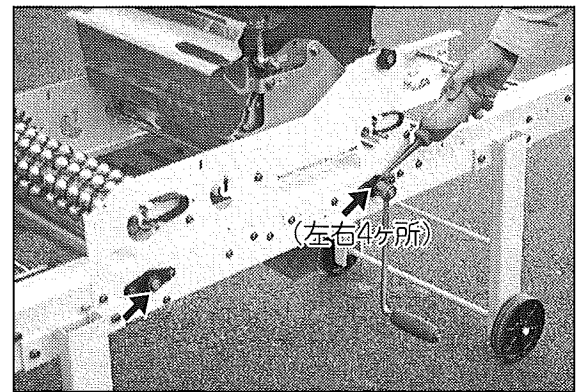
8.種選別箱

付属の種選別箱を利用して、種と土を選別して下さい。
種選別箱を少し傾けて、左右に軽くゆすると種がコロコロと流れ出し、種のみ選別することができます。
土が多い場合は2~3回選別して下さい。



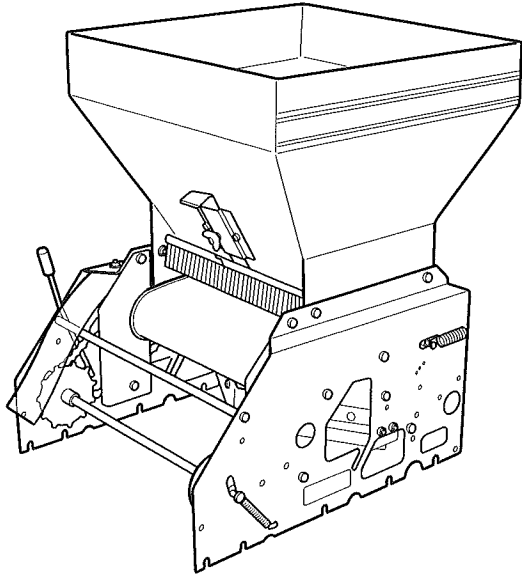
9.注油

矢印部の軸受部に時々注油して作業をして下さい。

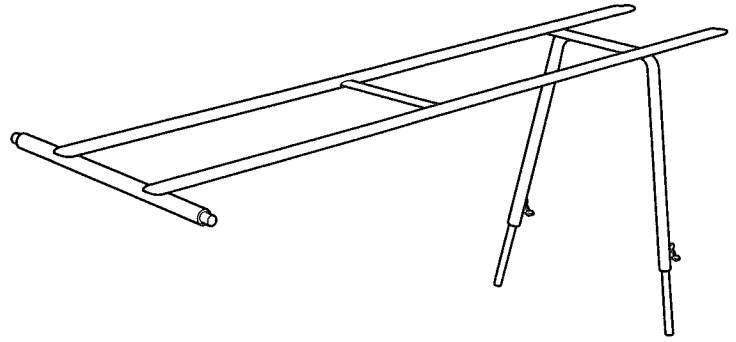


オプション品について

覆土機

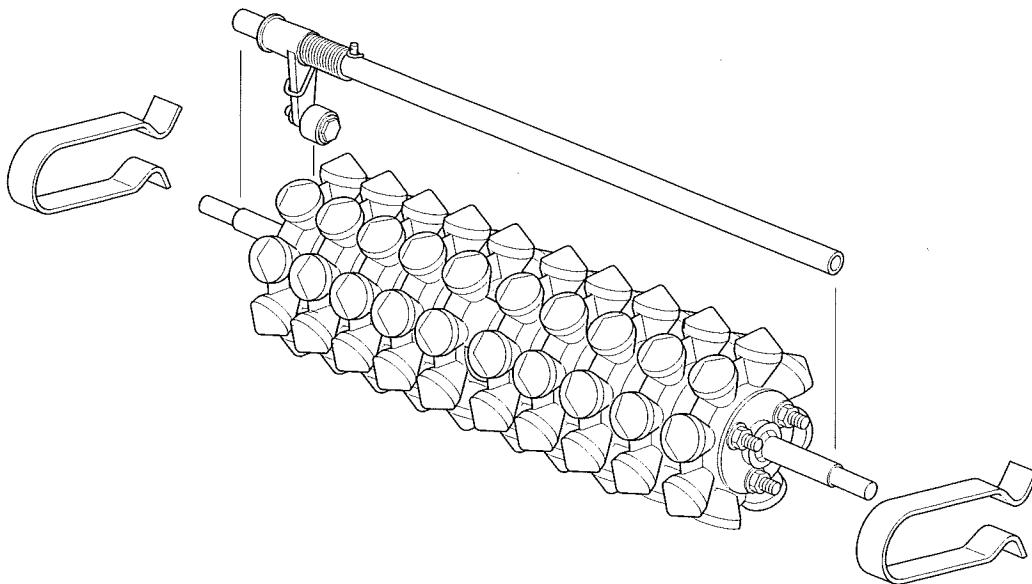


補助フレーム



- 覆土機(補助フレーム付)を播種機の後部に取付けて作業すれば、土押え→播種→覆土の作業が連続して可能です。

成型ロール



- 播種ロールを交換してキャベツ、ブロッコリー等のコーティング種子を1粒ずつ播種する場合、成型ロールを取付けることにより、ポットの中央に種をまくことができます。

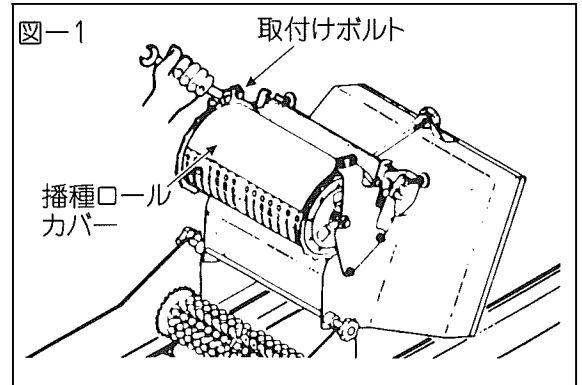
点検整備

安全には十分注意して、次の要領で作業を進めて下さい。

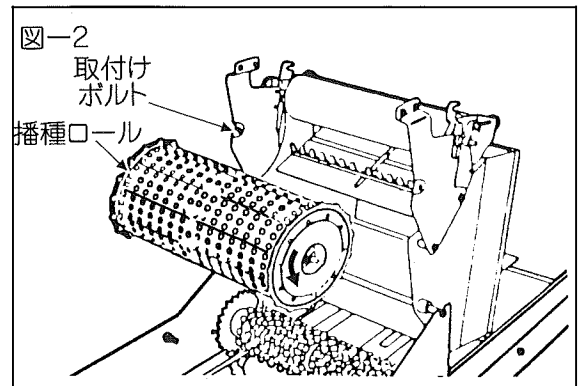
播種ロールの取替要領

《取替要領》

1. 取付けボルトを外して、播種ロールカバーを取り外します。



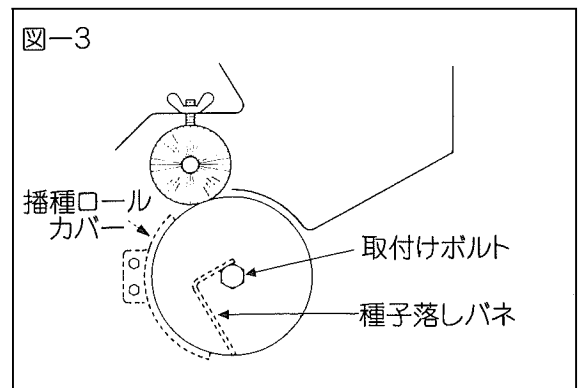
2. 播種ロール左右の取付けボルトを外して、播種ロールを取替えます。



重要

播種ロール取付けの際は、播種ロールの取付け方向を間違えない様に注意してください。
播種ロール側面にある矢印が、図-2の向きになる様に取付けてください。

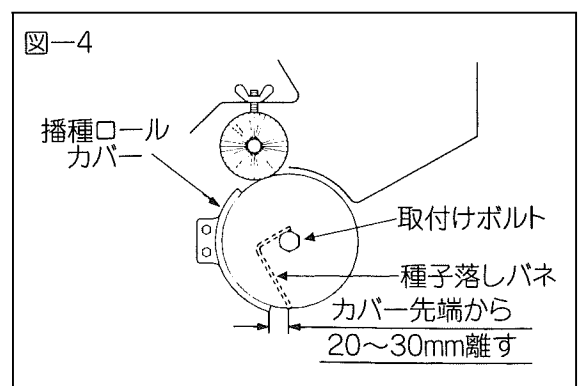
3. 種子落としバネをほぼ図-3の様な位置にして取付けボルトを仮締めにします。



4. 播種ロールカバーを播種ロールに軽く接する程度に密着させて取付けた後、種子落としバネの先端を図-4の位置にして取付けボルトで固定してください。

重要

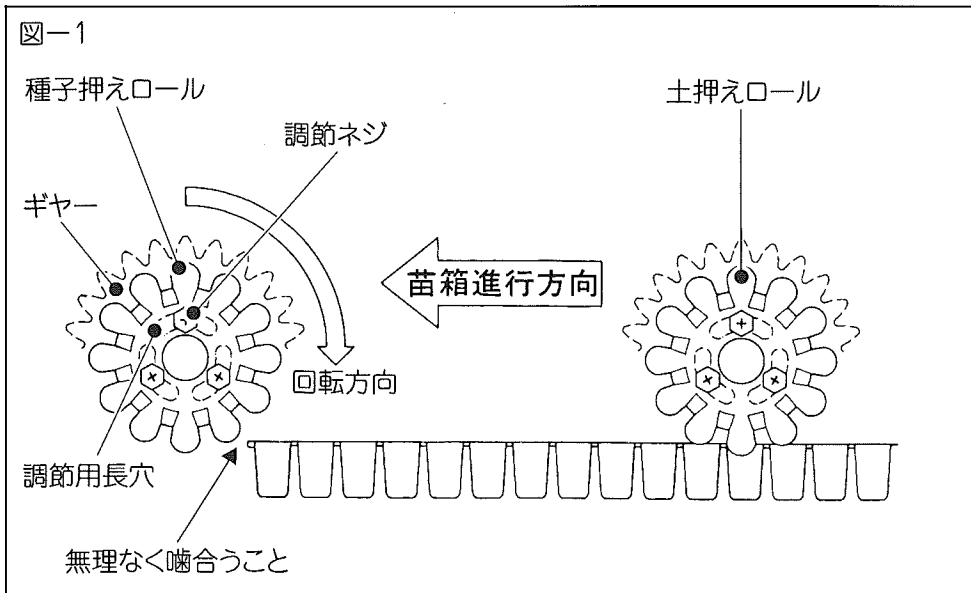
取付け終了後に、播種ロールを手で回して、種子落としバネが図-4の位置でパチン、パチンとはじいていることを確認してください。



土押しロールと種子押しロールのタイミング調節

確認

苗箱先端を種子押しロールに噛み込ませた時、種子押しロールの突起が無理なく苗箱と噛み合うことを確認してください。



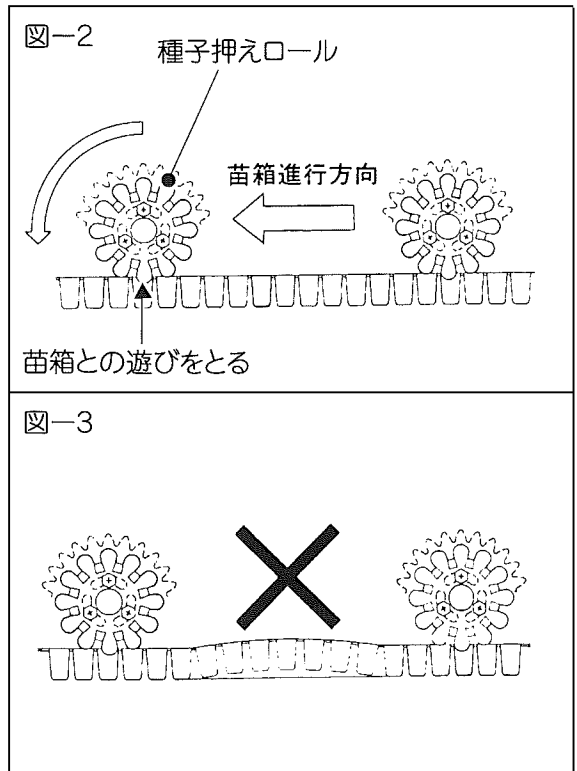
※土押しロールと種子押しロールとのタイミング不良の場合は処置-1を行ってください。

処置-1

1. 図-1の種子押しロールのギヤ側の調節ネジ(3カ所)をゆるめて、調節用長穴のほぼ中央に調節ネジがくる様にしておきます。
2. ハンドルを右回転させて苗箱を送り、調節ネジが調節用長穴の一番端にこない位置で種子押しロールに噛み込ませます。
3. 図-2の様に種子押しロールを矢印方向に軽く回して苗箱との遊びを取り、調節ネジ(3カ所)を締め付けます。

重要

図-3の様に種子押しロールに強く力を入れすぎると、苗箱が反り上がり、種子押しロールが正しい噛み合いの位置にならないので注意して下さい。



サービス資料

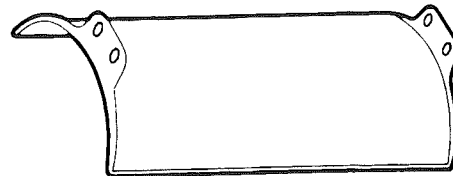
主要諸元

名 称	野菜手動播種機
型 式	VH-3
播 種 粒 数 (1 ポ ッ ト 当 り)	3粒(2L規格一球径3.5~4.5mmのコーティング種子)
全 長 × 全 幅 × 全 高	1200×490×850mm(補助フレーム装着時の全長2480mm)
重 量	40kg
能 率	100箱/時
適 用 苗 箱	ポット220
適 用 作 物	白ネギ

消耗部品

■播種ロールカバーCP

播種ロールカバーCP表面の透明フィルム部分が、種の通過により摩耗してきます。播種ムラが発生する前に交換してください。





ＪＮＲ産業株式会社

本社工場／岡山県赤磐郡山陽町下市447 〒709-0892

東京支店／大宮市大字南中野247 〒330-0826

九州支店／福岡県筑紫野市大字永岡1020-1 〒818-0066

TEL (08695) 5-1122 (代)
FAX (08695) 5-5520

TEL (048) 683-9451 (代)
FAX (048) 683-9452

TEL (092) 921-6006 (代)
FAX (092) 921-6008